

WinActor と Teams の連携で業務を自動化！

# RPA×チャットツール連携

コロナ禍や働き方改革によるリモートワークの拡大により、ビジネスチャットツールが急速に普及しています。

チャットルールを利用し、ユーザーがチャットに入力した指示を読み取ると、その指示が WinActor に登録された各種のシナリオのうちどれに該当するかを判断し、対象のシナリオを実行します。

ユーザーはどのシステムやアプリケーションを使用するかを意識することなく、チャットツールに指示を入力することで目的の作業のアウトプットを得ることができます。

## WinActor×Teamsが提供するソリューション

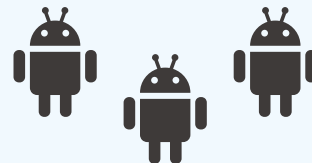
Teamsでチャット形式で指示

WinActorが各種システム操作を自動化



チャットで指示

WinActor®



自動実行



その他



社内システム



クラウド

# RPA×チャットツール連携の特徴

1

チャットツールから WinActor に指示を出し、対象のシナリオを自動的に判定・実行させることが可能。

2

テレワークの環境下でも、スマホやタブレットから利用が可能。

3

クラウド上でサーバー型の RPA ツール WinDirector® の利用が可能。

4

WinActor や WinDirector の活用を促進し、企業の DX 化を推進。

## 導入事例

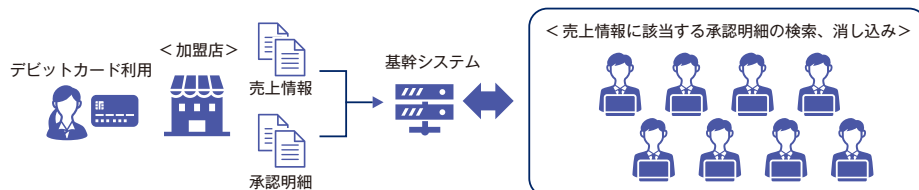
【クレジットカード業】デビットカードに関するデータ処理業務

### 「WinActor」導入前の課題

- カード決済のスキームの多様化に伴い、1万以上ある事務系の業務プロセスを円滑に行なうため、数多くの業務システムを利用している。
- しかし、現場にはシステム化では投資効果がみこめない業務が数多く存在しており、業務の効率化と作業ミス防止の観点から RPA に着目。

### 「WinActor」導入による業務プロセスの比較

#### 導入前 売上情報と承認明細の突合と消し込み作業を複数の担当者で実施



#### 導入前 売上情報を抽出しエクセルへ転記、それをもとに WinActor が対象の承認明細の突合と消し込みを実施



### 導入から活用にあたってのポイント

ロボットを新人社員とみなし、各ロボットに担当者をつけて稼働状況を監視。

トラブルがあれば、RPA 開発部署へエスケーションする業務フローを確立。

シナリオ作成や運用ノウハウの共有を行なう、担当者間の会議を定期的に行なう。

責任者クラスによる「推進会議」にて、投資対効果の確認や、今後の方向性を検討。

請求明細書の突合・消し込み作業を「WinActor」で自動化！月間 **“370時間”** の作業時間削減！！

サービスに関する詳しい情報は下記よりお問合せください



Try & Innovation

NeedsWell

株式会社ニーズウェル ソリューション営業部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1  
ニューオータニ ガーデンコート13階



sol\_nwsales@needswell.com



https://www.needswell.com



050-5357-8344

